

令和7年度 総務委員会行政視察 事前勉強会資料

①11/10(月)午後 【京都市消防活動総合センター】

視察項目	平常時及び大規模災害時の双方に対応した消防活動拠点施設について
視察項目の概要	京都市消防活動総合センターは、平常時には消防職員・消防団員等の教育・訓練施設としての役割を担う一方で、大規模災害時には訓練施設等の施設全体が、緊急消防援助隊集結場所及び後方支援施設として機能を切替え、効率的な運用を行うことができる施設である。
視察項目に関する 本市の 現状・課題	【現状】本市消防局は大規模災害時に対応できる活動拠点施設を有していない。 【課題】西消防署移転事業において、熊本地震の教訓を生かし、緊急消防援助隊の受援施設及び活動拠点施設を整備するにあたり、移転予定地の有効活用。
視察のポイント	<ul style="list-style-type: none">・平常時に実践的な訓練が実施可能な訓練施設・大規模災害時に活動拠点施設として必要な諸機能・平常時と大規模災害時の機能切替体制